

「いきいき長生きファンド」 の提案

麗澤大学 中島ゼミ

伊藤 千夏
上條 響
金子 裕太
富田 優也
渡邊 光

目次

1. 問題の所在

2. 参考事例の分析

3. いきいき長生きファンドの提案



祖母と話をしたとき…



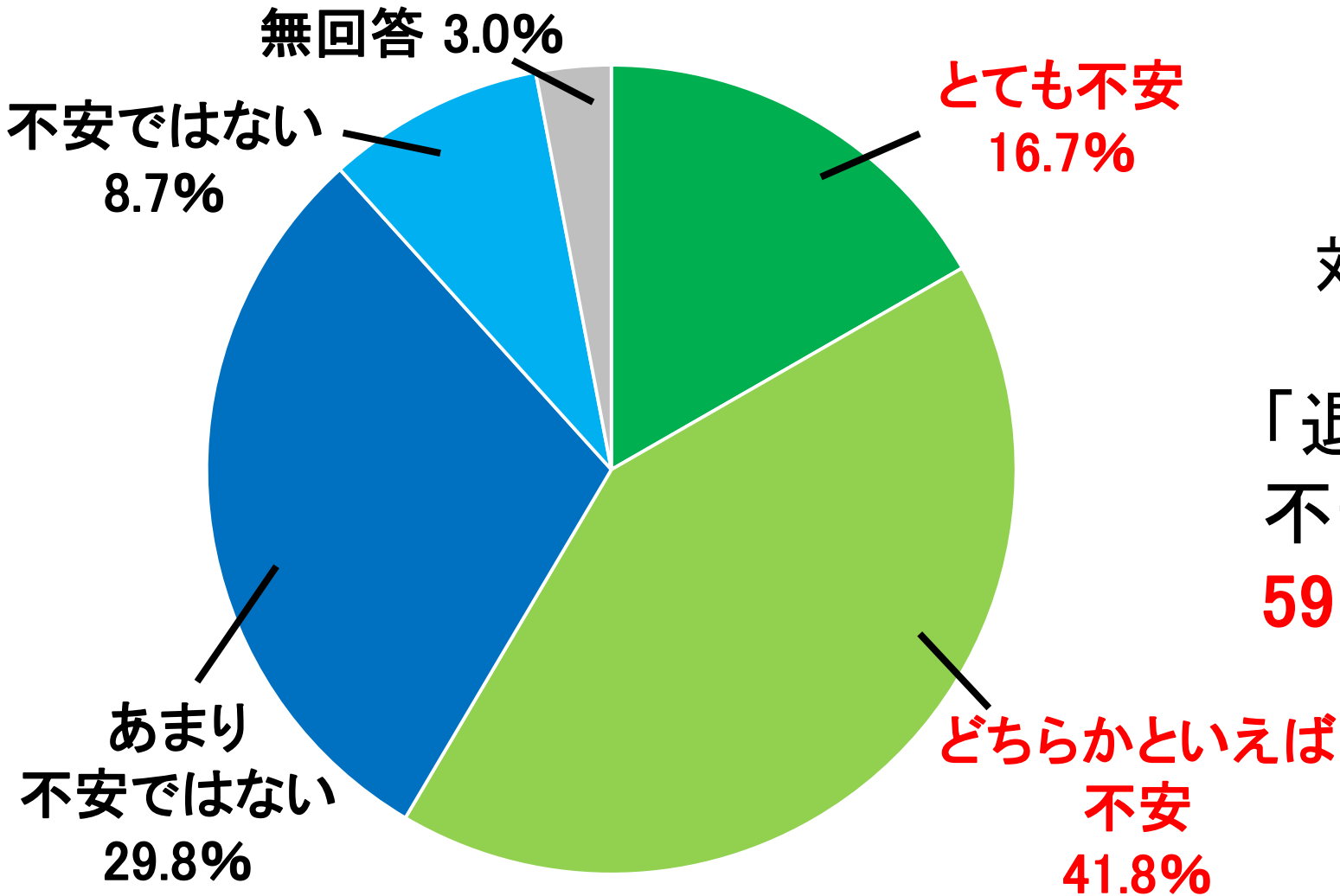
70代

これからの生活、
お金が足りるか不安なのよね

現役世代は「資産形成」が課題
**高齢者は「資産の取り崩し方」
(老後の資金)が不安**



高齢者へのアンケート



老後資産に係る不安
についてのアンケート

対象：60歳以上の男女2,083名

「退職後の生活資金に
不安があるか」という問いに
59%が不安があると回答

老後2000万円問題

夫65歳以上

妻60歳以上

無職

の場合・・・

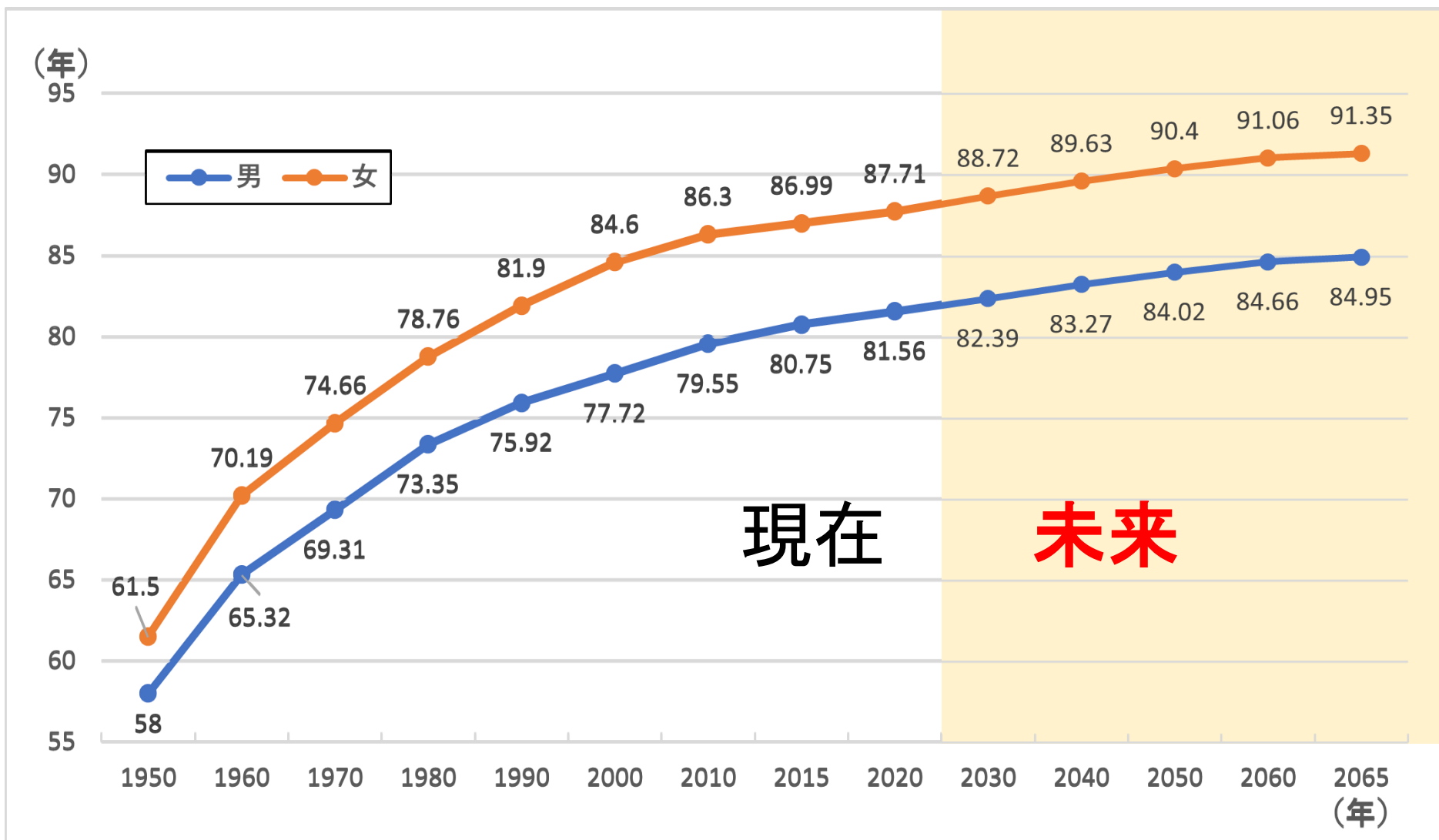
老後(30年間)に
約2000万円が
不足!

〈内訳〉

毎月の年金支給など	約21万円
支出	約26万円
赤字	約5万円

5万円 × 12か月 × 30年
= 1800万円
約2000万円

平均寿命は延びている！



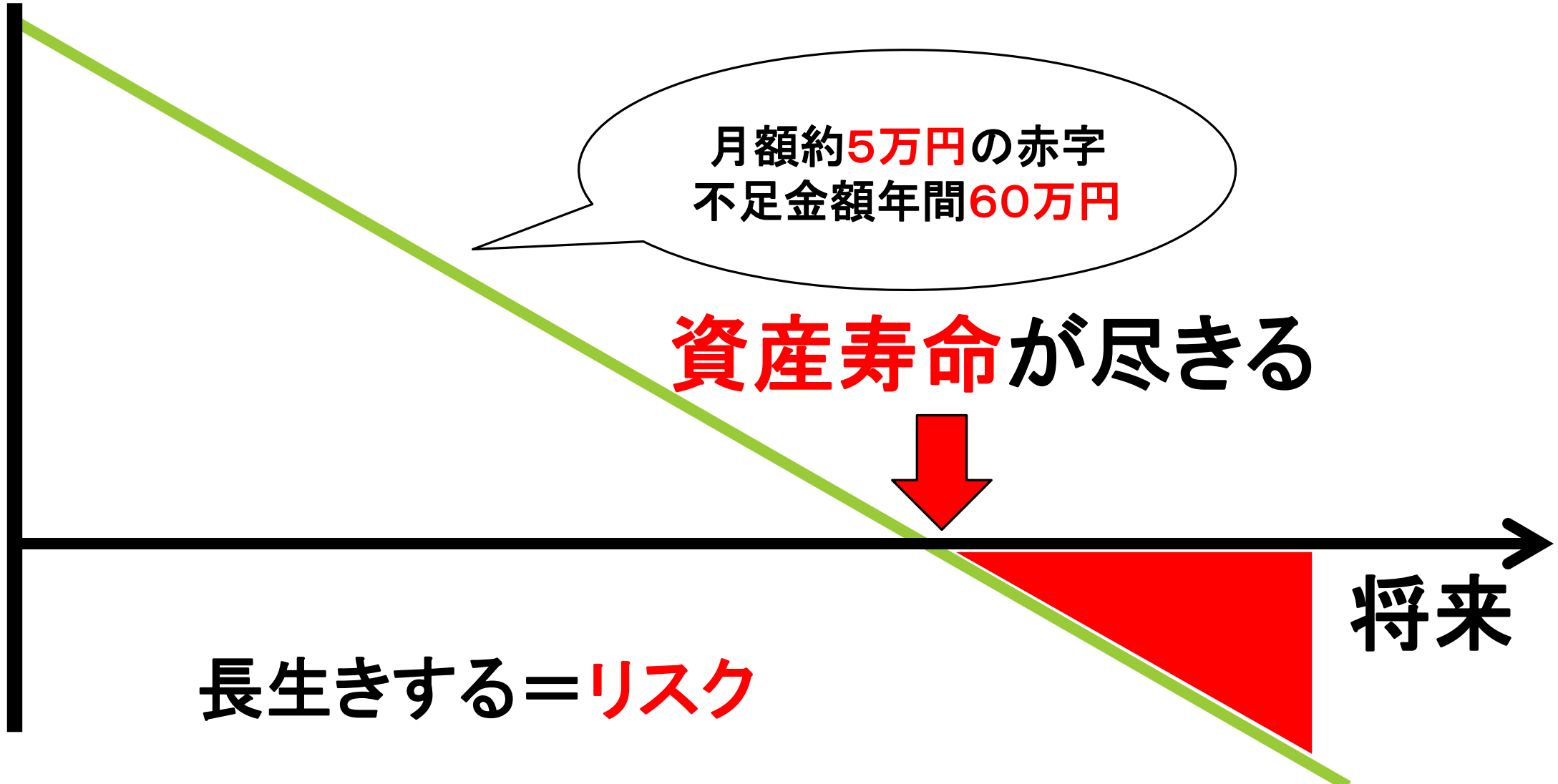
2020年時点で

男性81.6歳
女性87.7歳

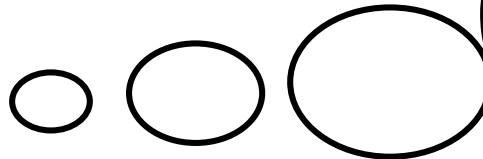
その後も
平均寿命は
延び続けると
予測されている

長生きリスクと資産寿命

貯蓄



長生きする=リスク



元気で長生きしてほしい...

家族が安心して長生きできるようにしたい！

参考事例①

生涯所得型ファンド(LPF)

The Longevity Pension Fund

- ・2021年6月からカナダで販売開始
- ・高齢者向けの**金融商品**
- ・亡くなるまで生涯収入を保証する

投資ファンド

×

長寿年金

LPFの仕組み



LPFのシミュレーション例(カナダ)

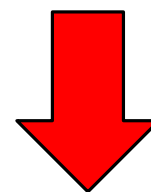
50歳で15万ドル(約1350万円)を投資した例

65歳～85歳まで	年間16176ドル	(約146万円)
86歳	年間16661ドル	(約150万円)
87歳	年間17161ドル	(約155万円)
88歳	年間17675ドル	(約160万円)
89歳	年間18752ドル	(約170万円)
90歳	年間19314ドル	(約175万円)
91歳	年間19894ドル	(約180万円)
92歳	年間20491ドル	(約185万円)
93歳	年間21106ドル	(約191万円)
94歳	年間23216ドル	(約210万円)
95歳	年間25538ドル	(約231万円)
96歳	年間28092ドル	(約254万円)
97歳	年間30901ドル	(約280万円)
98歳	年間33991ドル	(約307万円)

※ドル表記はカナダドル(約90.5円)で算定

※カナダの平均寿命は男性80.4歳、女性84.1歳

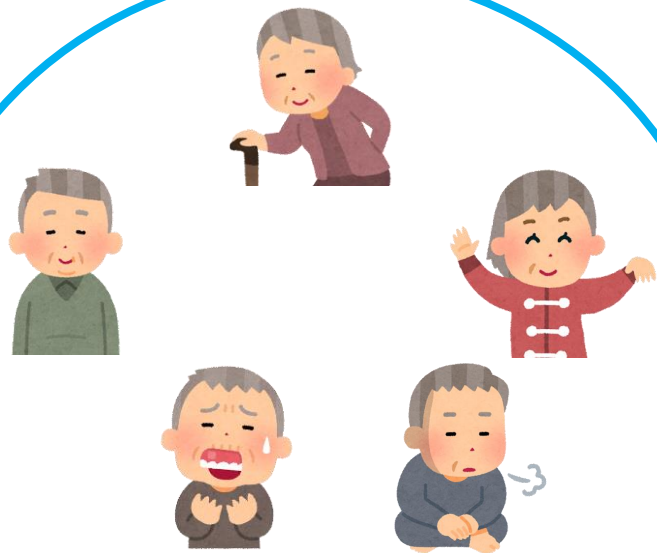
・同年齢層のグループでファンドを形成し、存命中のメンバーに分配金を支給する山分け方式を採用している。



**長生きするほど、
1人当たりの支給額が
高くなる！**

LPFのポイント

総支給額
1000万円の場合

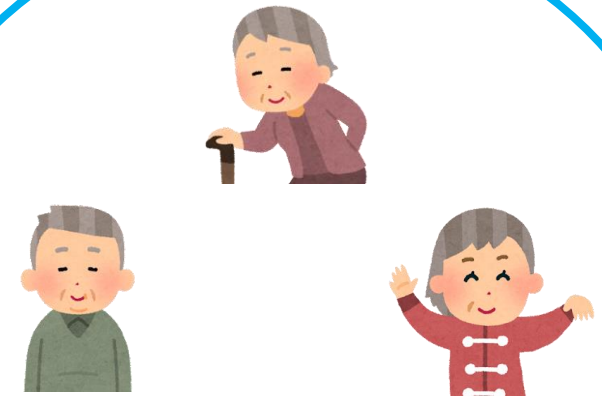


一人当たり
200万円支給



一人当たり
250万円支給

長生きするほど
受取金額が増加！



一人当たり
約330万円支給

LPFのメリット・デメリット

メリット

- ・一生涯続く保証
- ・長生きするほど増加する支給額

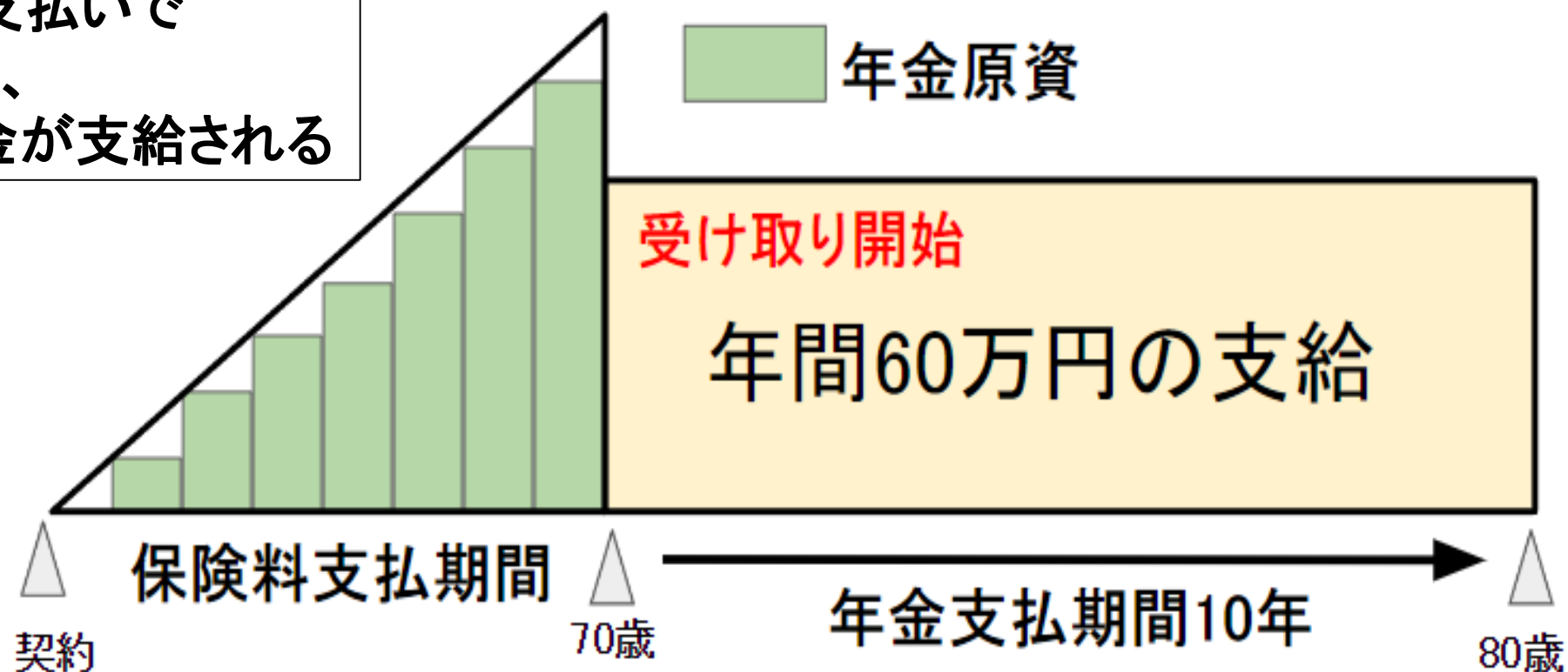
デメリット

- ・現役世代での一括投資
- ・利回り6%での運用は非現実的

参考事例②

長寿保険(日本)

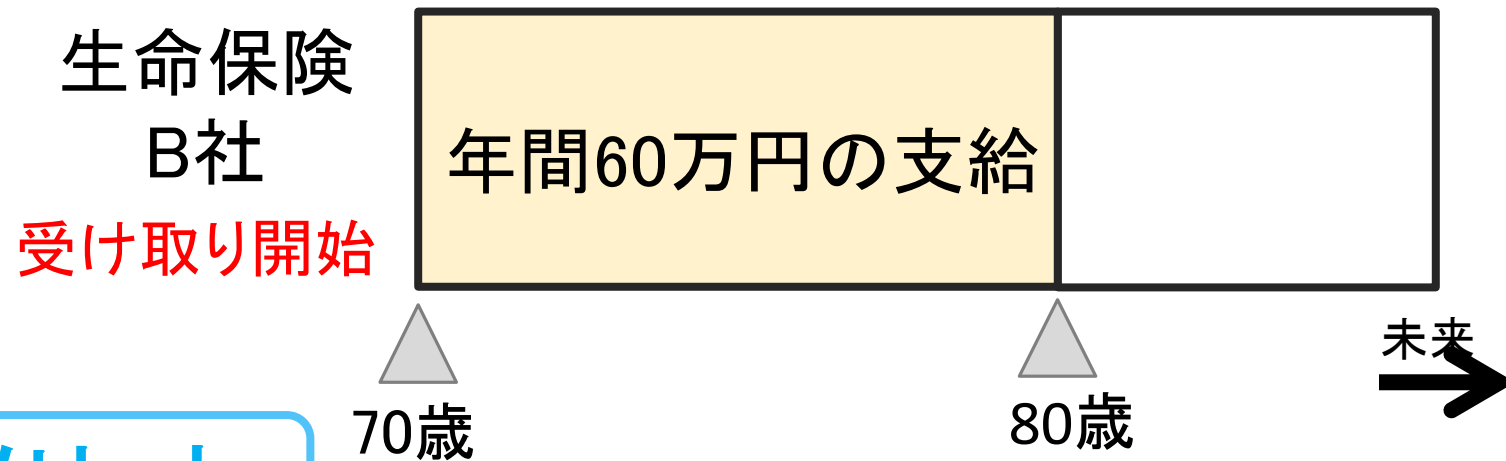
月額料金の保険料の支払いで
年金原資を貯めていき、
支払満期後定額で年金が支給される



長寿保険の概要比較

日本	生保A社	生保B社
加入年齢	50歳	50歳
受け取り開始	70歳	70歳
月額保険料	46,750円	47,946円
払込総額	1122万円	1150万7040円
保険金額（年間）	50万円	60万円
保険金支払期間	最大30年間	10年間
支払保証期間	20年	10年

長寿保険のメリット・デメリット①



メリット

保証期間がある。(10年間)

※保証期間内で亡くなったとしても保証がある。

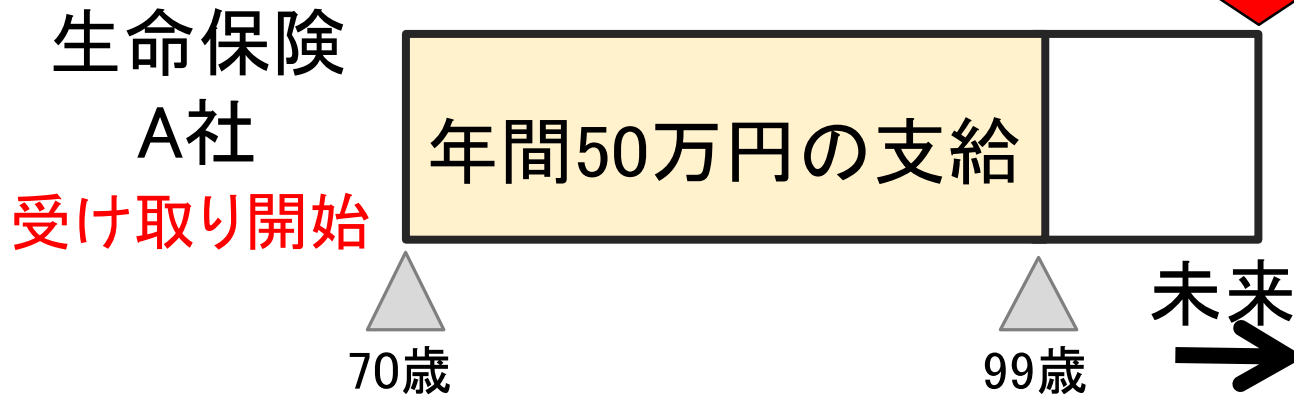
定額・保険金(50～60万円)

毎年契約した定金額が支給される。

長寿保険のメリット・デメリット②

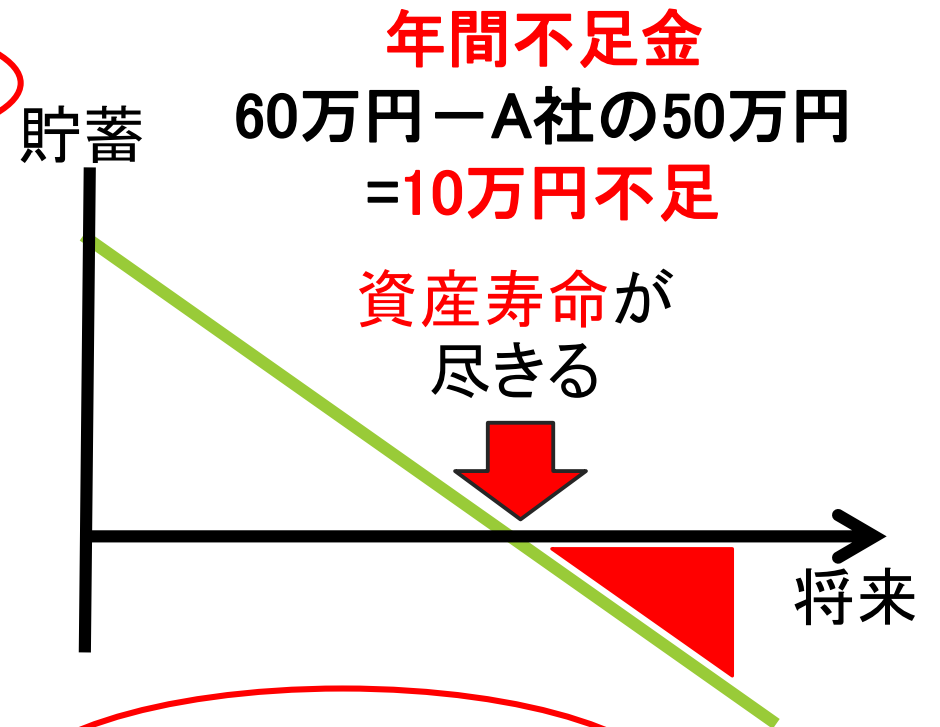
デメリット

生涯保証がない



※2050年には100歳を
超える人が約68万人

解約すると損(解約返戻金返還率70%)



支給額がギリギリ

参考事例②

長寿保険(日本)

結論として...

長生きリスクに対応できていない!!



「いきいき長生きファンド」

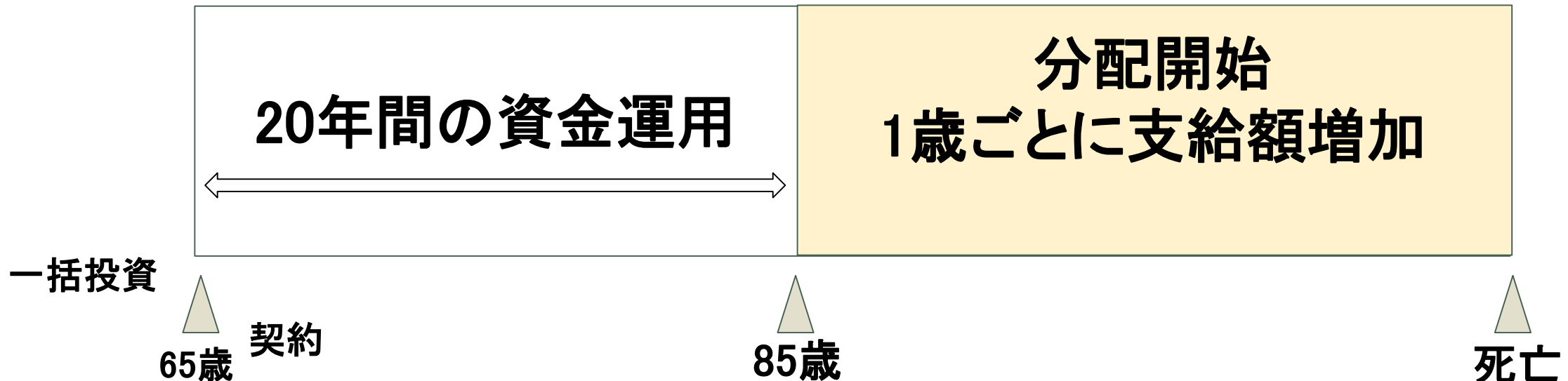
を提案します！

要約

長生きリスクに特化した金融商品

「いきいき長生きファンド」の概要

- ・対象年齢65歳～
- ・65歳で1000万円を一括投資
- ・年率1.97%で20年間資産運用
- ・85歳から支給開始
- ・加入者が亡くなるまで生涯支給



65歳で1000万円の投資

85歳	72万円
86歳	76万円
87歳	81万円
88歳	91万円
89歳	98万円
90歳	104万円
91歳	106万円
92歳	108万円
93歳	116万円
95歳	129万円
97歳	139万円
99歳	144万円
101歳	152万円
103歳	162万円
105歳	173万円

年間支給額のシミュレーション

- ・支給開始から1歳ごとに金額が上がる

分配開始年が高いため
金利が低くても
高い分配率を実現



日本版は年率1.97%
(生保の実際の
運用利回りを参考に)

“**長生きすると**”
利益が得られる仕組み

いきいき長生きファンドのメリット

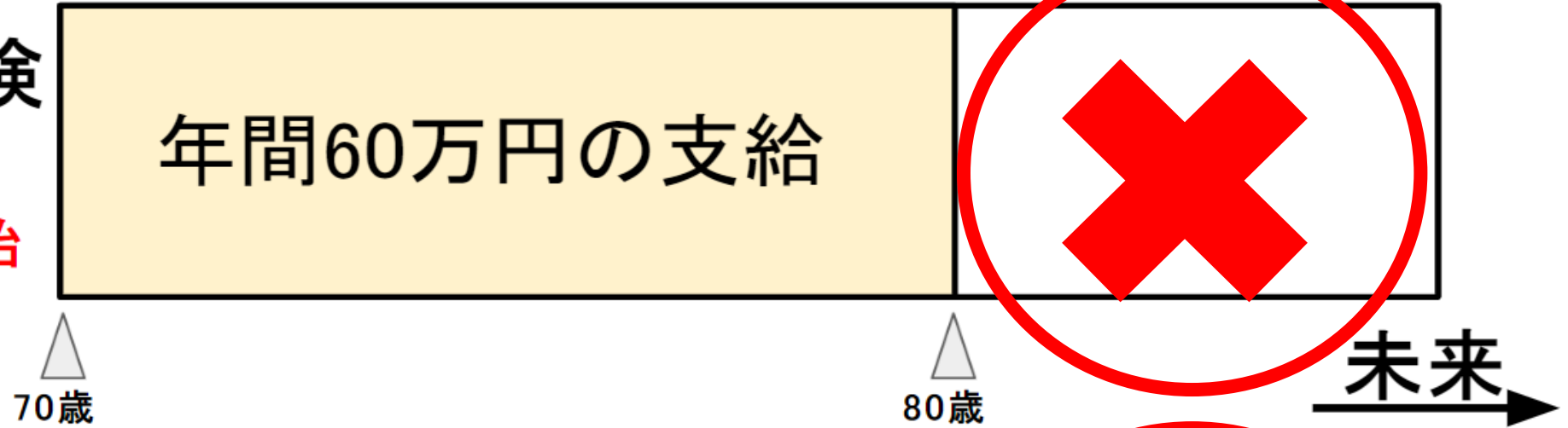
- 85歳から**一生涯支給**される
→ 既存の保険でカバーしにくい年齢層
- 年々受け取り金額が増加
→ **長生きするほど**利益が得られる
- **65歳**での一括投資
→ まとまった資金を用意しやすい開始年齢



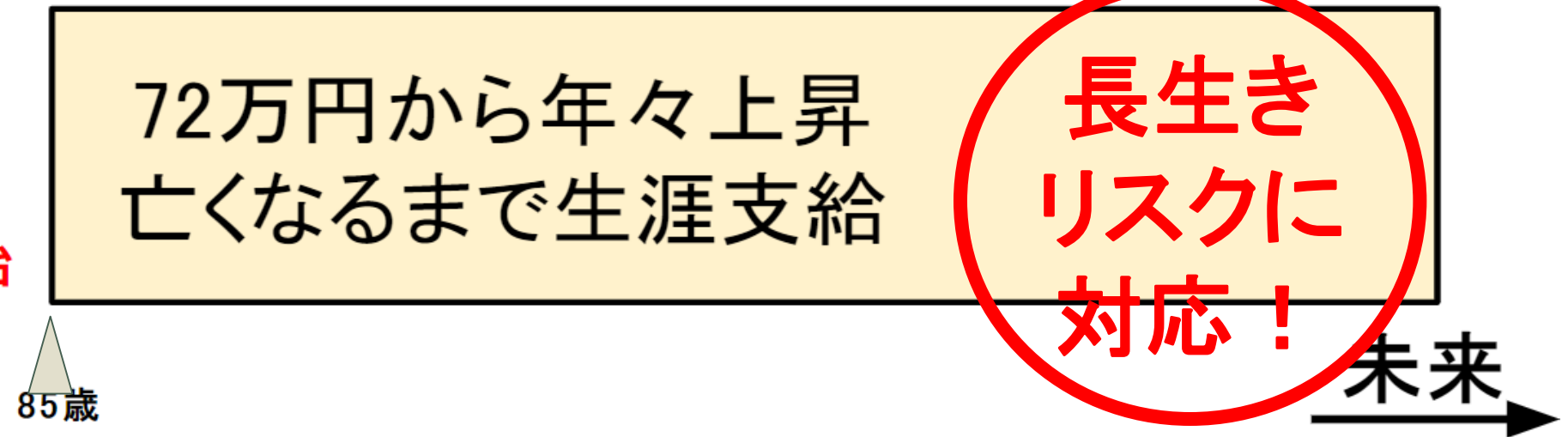
貯蓄+退職金

長生きリスクに対応

生命保険
B社
受け取り開始

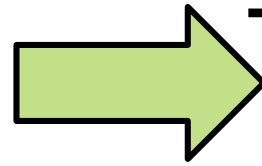


いきいき
長生き
受け取り開始



実現可能な運用利回り

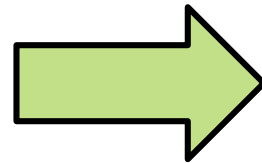
生涯所得型ファンド
カナダ



年率**6%**の利回り
での運用を想定

※現実的な利回りではない

いきいき長生き
ファンド



年率**1.97%**の利回り
での運用を想定

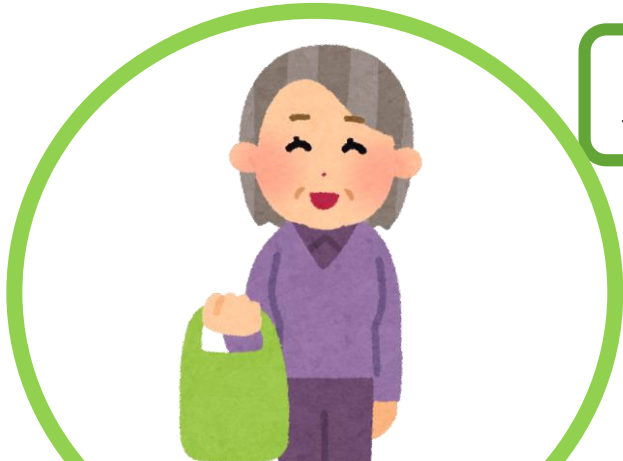
LPF・長寿保険との違い

	長生き	LPF	長寿保険
終身保障	◎	○	△
長生きリスク 対策	◎	○	△
始めやすさ	◎	×	○
実現可能な 利回り	◎	×	○

生き方の選択肢が増える



人生を楽しむためのお金

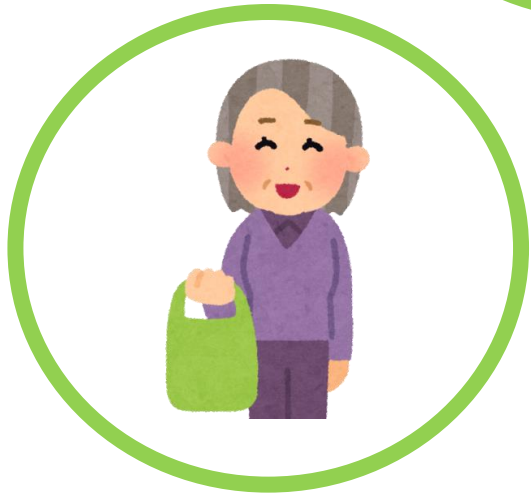


生活費としてのお金



子供に残すお金

安心感を得ることができる



安心感

いきいき長生き 将来ビジョン

老後の不安を解消！

- ・長生きすること＝利益が得られる

生きるインセンティブに！



人生100年時代 新戦略

いきいき長生きファンドを！

参考文献

生命保険文化センター『ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査』

<https://www.jili.or.jp/research/report/elderly.html>

金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」

https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20190603.html

内閣府『令和四年版 高齢社会白書』

<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>

生涯所得ファンド：(LPF)

<https://www.jnews.com/world/2022/004.html>

厚生労働省 第23回生命表(完全生命表)の概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/23th/index.html>

元気百歳になる方法

<http://www.ilcJapan.org/aging/doc/genki100.pdf>

金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」

<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/yoron/futari2021-/2021/21bunruif001.html>

厚生労働省「退職給付(一時金・年金)の支給実態」

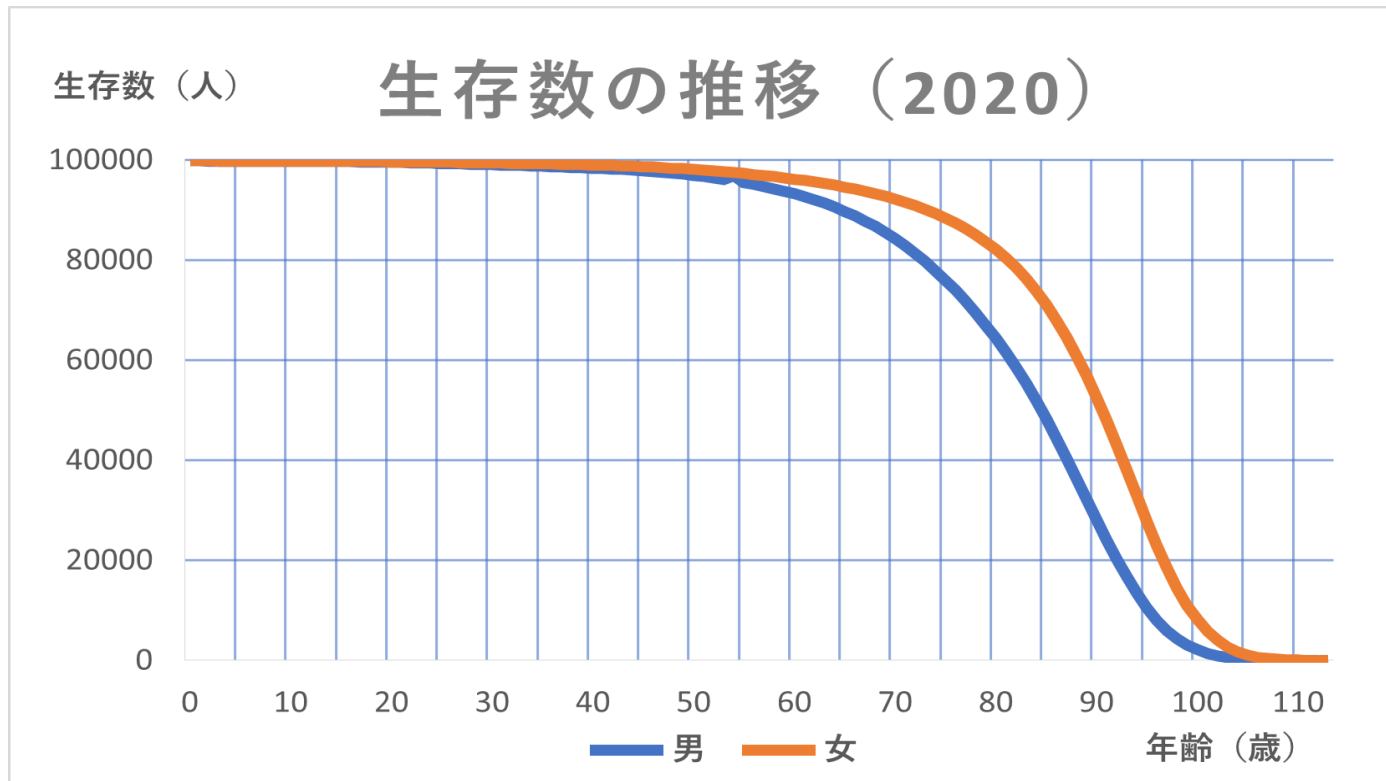
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/18/dl/gaiyou04.pdf>

ご清聴ありがとうございました。

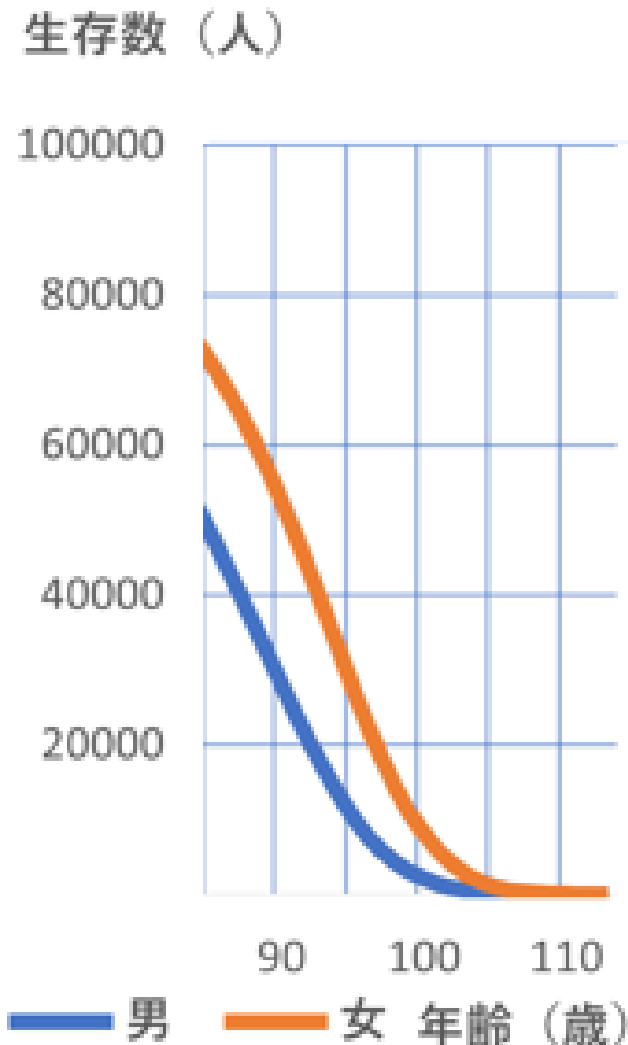


シミュレーション計算方法

- ・初年度の年間支給額 $1448(\text{万円}) \div 20\text{年}(\text{受取期間})$
- ・次年度以降の年間支給額 $\text{年間支給額} \times \text{人口減少率} \times \text{運用利回り}$



なぜ105歳までにしたのか？



厚生労働省の「生命表」によると
10万人あたりで、105歳まで生きる人は
男性で201人、女性で1071人です。
男女平均：10万人あたり636人

(※生存確率0.636%)

1%未満

105歳までを終身と考えて算定した。

高齢者の貯蓄と退職金

60歳代の金融資産保有額 (2人以上世帯)

平均値

2427万円

中央値

810万円

退職給付
(一時金・年金)
制度がある企業

80.5%

1人当たり平均退職給付額

大学・大学院卒

1983万円

高校卒
(管理・事務・技術職)

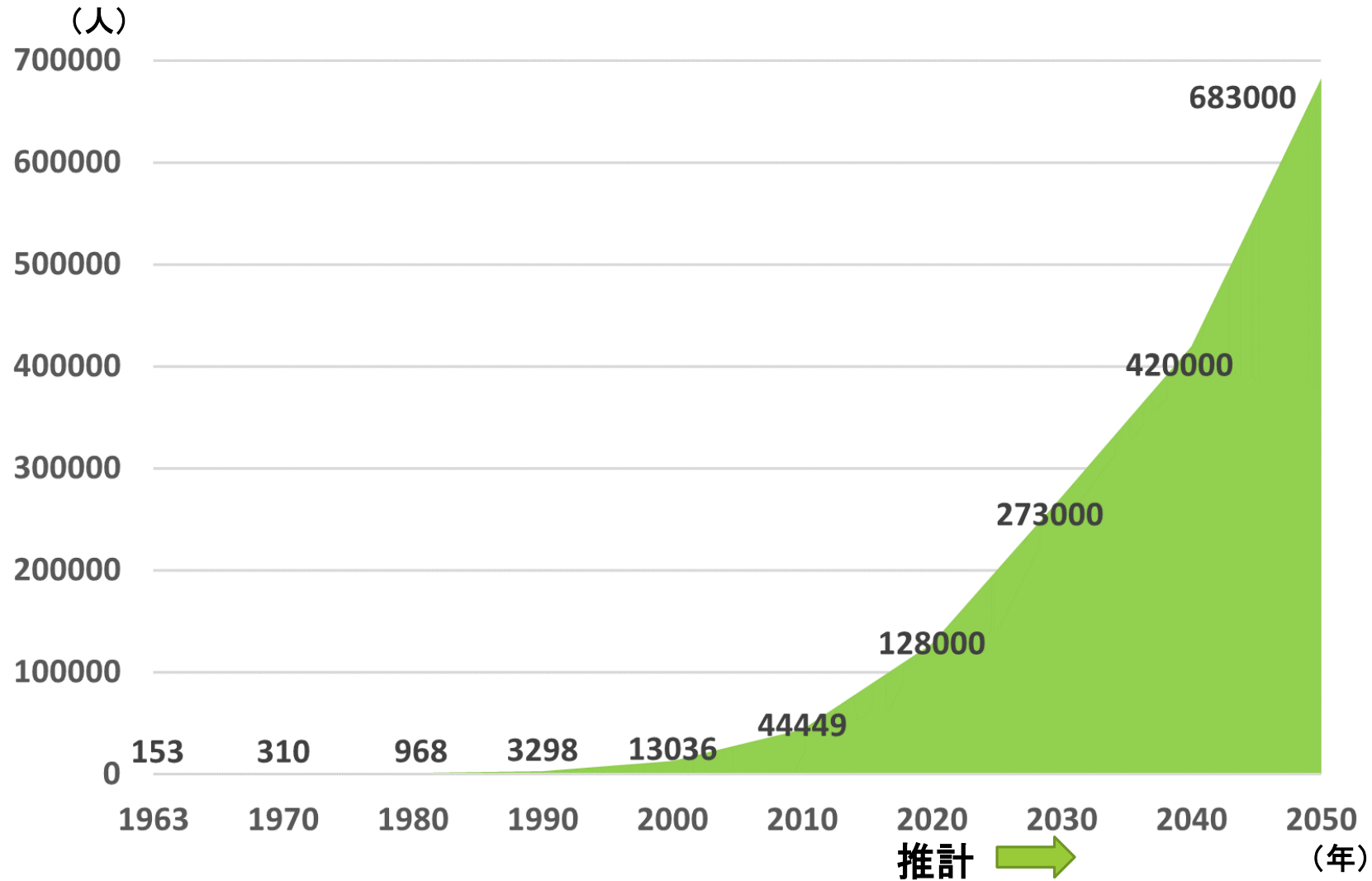
1618万円

高校卒 (現業卒)

1159万円

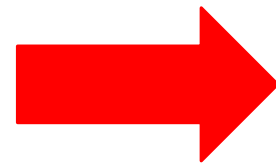
出典: 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」(2021) 厚生労働省「退職給付(一時金・年金)の支給実態」(2018)

100歳以上高齢者数の年次推移



当ファンドを作った目的

いきいき長生き



治療費



終活資金

生活費

亡くなるまでの安心感

当ファンドを作った目的

そもそも...

日本の金融は長生きリスクへの**危機意識が低い**

いきいき長**生き**ファンドの
提案により、国内での
議論が活発化することを目指す

